

SAFETY DATA SHEET

September 1, 2018

1. 会社情報

製品名	OSHIROX弱溶剤2液性エポキシシーラー (OXC-EPO/M)
硬化剤	
会社名	株式会社OSHIROX
住所	〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋4-1-55
部署	研究開発部
電話 / FAX番号	06-6690-7372 / 06-6690-7373

2. 危険有害性

物理的・化学的危険性:	引火性液体:		区分 3
健康に対する有害性:	急性毒性:	経口:	区分外
		経皮:	分類で
		きない	
		吸入: ガス:	分類で
きない		吸入: 蒸気:	区分 4
	皮膚腐食性/刺激性:		区分 2
	重篤な眼の損傷/刺激性:		区分 2

呼吸器感作性:			分類できない
皮膚感作性:			分類できない
生殖細胞変異原性:			分類できない
発がん性:			区分2
生殖毒性:			区分1
特定標的臓器 / 全身毒性 – 単回:			
	区分1	(中枢神経系、腎臓、呼吸器、肝臓)	
	区分3	(麻酔作用)	
特定標的臓器 / 全身毒性 – 反復:			
	区分1	(聴覚器、中枢神経系、神経系、呼吸器)	
吸引性呼吸器有害性:			区分1
環境に対する有害性:	水生環境有害性:	急性:	区分1
		慢性:	区分2
	オゾン層への有害性		分類できない

危険有害性絵表示:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

- ・引火性液体及び蒸気
- ・吸入すると有害
- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・発がんのおそれの疑い
- ・生殖能または胎児への悪影響の恐れ
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に毒性
- ・臓器（中枢神経系、腎臓、呼吸器、肝臓）の障害
- ・（麻酔作用）眠気またはめまいのおそれ
- ・長期ないし反復暴露による臓器（聴覚器、中枢神経系、神経系、呼吸器）の障害

注意書き:

安全対策:

- ・容器を密栓しておくこと・
- ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・容器を設置すること/アースをとること。

- ・ 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・ 火花を発生させない工具を使用すること。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと
- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・ この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと
- ・ 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
- ・ 環境への放出を避けること。

応急処置:

- ・ 火災の場合：消化するために炭酸ガス消火器、泡消火器及び粉末消火器を使用すること。
- ・ 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・ 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当を受けること。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。
- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
- ・ 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。
- ・ 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
- ・ 無理に吐かせないこと。
- ・ 漏出物を回収すること

保管:

- ・ 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・ 施錠して保管すること
- ・ 容器を密閉しておくこと

廃棄:

- ・ 内容物や容器を、国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って、都道府県知事の許可を受けた専門の業者に廃棄を委託する。

3. 組成 / 成分情報

単一化合物・混合物の区分

混合物

成分

エチルベンゼン
キシレン
イソブチルアルコール
脂肪族ポリアミドアミン

4. 応急処置

目に入った場合：

直ちに清浄な流水で15分以上洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す

こと。その後も洗浄を続けること。

まぶたの裏側まで完全に洗うこと。

すぐに痛みがなく視力に影響がなくとも障害が遅れて現れることがあるので、出来るだけ早く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合:

付着物を布にて素早く拭き取ること。

衣類を着用している部分に付着した場合、着用品を脱ぎ、水や石鹼にて洗浄すること。

大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには、医師の診断を受けるこ

と。

吸入した場合:

こと。

蒸気を大量に吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる

呼吸が不規則に止まっている場合は人工呼吸を行う。おう吐物は飲み込ませないようにすること。直ちに医師の診断を受けること。必要に応じ酸素吸入を行うこと。

蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診

断を受けること。

飲み込んだ場合:

誤って飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受ける。

おう吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の処置

使用可能な消火剤

消火方法

- ・炭酸ガス・泡・粉末消火剤・乾燥砂
- ・棒状水を消火に用いてはならない。
- ・消火作業の際には、適切な保護具（耐熱性着衣等）を着用する。
- ・消火作業は風上から行う。
- ・周辺の引火性、可燃性のものは、水を噴霧し冷却するとともに、速やかに安全な場

所に移す

6. 漏出時の処置

風下の人を避難させる。また、風下で作業しない。

付近の着火、引火源及び可燃物を、速やかに取り除く

着火した場合に備えて、粉末又は泡消火器を準備する

周辺を立ち入り禁止、ならびに火気厳禁とし、関係者以外を近づけないようにして二次災

害を防止する

作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、保護衣、ゴーグル等）を着用する。また、防護衣の上に防火服を着用する。

少量漏出の場合は、乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸収させて回収する。

大量漏出の場合は、盛土で囲って流出を防止する。

火花が発生しないような材質の用具を用いて、回収する。

流出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、王発、引火のないよう安全な方法で関係法律に基づいて処理する

こと。

河川、排水路、湖沼、水路に流出し環境への影響を及ぼさないように注意する。

7. 取り扱いおよび保管

取り扱い:

取扱い場所は関係者以外、立ち入り禁止とする。

換気の良い場所で取り扱い、風上にて作業する。

容器はその都度密栓する。

周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

作業着、作業靴は、導電性のものを使用する。

静電気防止の為、装置などは接地し、更に床に散水することも静電気防止に有効である。

スパーク防止のため、電気機器類は防爆型のものとする。

工具は火花防止型のものを用いる

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。

皮膚、粘膜、着衣に触れたり、目に入らないよう、また、吸入しないように、適切な保護具を着用する。

使用済みウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで蒸発・引火・着火しないように注意して保管する。

酸化性物質と混合しないこと。

缶の取手は手下げ用であり、ロープ等で吊り下げることがはしないこと。

保管:

保管場所は火気厳禁とする。また、熱源から遠ざけて保管する。

直射日光を避け、換気の良い場所に一定の管理のできる場所を定め、施錠して保管する。

消防法に定める禁止物と一緒に保管しない。

照明、換気装置は、防爆型を使用する。

8. 暴露防止措置 / 保護措置

保護具:

許容濃度、管理濃度（職業的ばく露限界値、生物学的限界値）

成分名	管理濃度	許容濃度
1,1-ジクロロエタン	20ppm	10ppm
キシレン	50ppm	100ppm
1,1-ジクロロエタン	50ppm	50ppm
脂肪族ホリニアミド	-	-

設備対策

排気装置を設けて、蒸気が滞留しないようにする。蒸気は空気より重く低所に滞留するので注意すること。

取扱い場所の近くには、高温、発火源となるようなものが置かれないような設備とすること

液体の輸送、汲み取り、混合等の装置についてはアースを取るように設備すること

屋内作業の場合には、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの曝露を避けられるような設備にすること。

取扱い設備は、防爆型の装置を使用する。

タンク内部など、密閉場所で作業する場合には、特に低部まで換気出来る装置を取り付けること。

呼吸器の保護具

有機ガス用防毒マスクを着用する。

密閉された場所では、送気マスクを着用する。

スプレー作業を行う場合には、適切な保護具を着用すること。

こと。

手の保護具

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

する。

目保護具

取り扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護

取扱う場所には、皮膚を直接曝させないような衣服を着けること。または化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他

通電靴を着用する。

9. 物理的・化学的性質

外観:	常温にて液状
臭い:	溶剤臭
pH:	該当せず
融点、凝固点:	情報なし
沸点、初留点と沸騰範囲:	108.0℃～144.0℃
引火点:	22.0℃
爆発限界 (n air, vol.%):	(下限) 1.0vol% (上限) 10.6vol%
蒸気圧:	1400Pa(25℃)
蒸気密度:	情報なし
比重 (相対密度) :	0.840～0.940 (25℃)
溶解性	情報なし
オクタノール/水分配係数	情報なし

自然発火温度	415℃
分解温度	情報なし

10. 安定性および反応性

安定性:	標準的条件では危険な反応はしない
避けるべき条件:	加熱
混触危険物質:	酸化剤、酸類
危険有害な分解生成物:	CO、NO _x 、その他低分子モノマー等
その他の危険性情報	情報なし

11. 毒性情報

有害性情報

・エチルベンゼン

急性毒性(経口)	区分外	LD50:3500
(経皮)	区分外	LD50:15400
(ガス)	-	
(蒸気)	区分4	LD50:4000
(粉塵)	-	
皮膚腐食	区分3	
眼損傷	区分2B	
呼吸器	-	
皮膚感作	-	
生殖細胞	区分外	
発がん	区分2	
生殖毒性	区分1B	
臓器/単回	-	区分2 区分3
臓器/反復	-	-
吸引呼吸	区分1	

・キシレン

急性毒性(経口)	区分外	LD50:3500
(経皮)	-	
(ガス)	-	
(蒸気)	区分4	LD50:6700
(粉塵)	-	
皮膚腐食	区分2	
眼損傷	区分2A	

呼吸器	-		
皮膚感作	-		
生殖細胞	区分外		
発がん	区分外		
生殖毒性	区分1 B		
臓器/単回	区分1	-	区分3
臓器/反復	区分1	-	
吸引呼吸	区分2		
・イソ [°] チルアルコール			
急性毒性(経口)	区分外	LD50:2596	
(経皮)	区分外	LD50:2523	
(ガス)	-		
(蒸気)	区分4	LD50:6336	
(粉塵)	-		
皮膚腐食	区分2		
眼損傷	区分2 A		
呼吸器	-		
皮膚感作	-		
生殖細胞	区分外		
発がん	-		
生殖毒性	区分外		
臓器/単回	-	-	区分3
臓器/反復	-	-	
吸引呼吸	区分2		
・脂肪族 [°] リアミ [°] アミン			
急性毒性(経口)	区分4	LD50:500	
(経皮)	区分4	LD50:1100	
(ガス)	-		
(蒸気)	-		
(粉塵)	-		
皮膚腐食	区分2		
眼損傷	区分2 A		
呼吸器	-		
皮膚感作	-		
生殖細胞	-		
発がん	-		
生殖毒性	区分2		
臓器/単回	-	区分2	区分3
臓器/反復	区分1	-	
吸引呼吸	-		

12. 環境影響情報

生体毒性:	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし

組成物質有害性（環境有害物質を対象）

・エチルベンゼン

水生環境有害性（急性）：区分1 水生環境有害性（慢性）：区分外 オゾン層への有害性：-

・キシレン

水生環境有害性（急性）：区分2 水生環境有害性（慢性）：区分2 オゾン層への有害性：-

・1-ブタノール

水生環境有害性（急性）：区分外 水生環境有害性（慢性）：区分外 オゾン層への有害性：-

・ビスフェノールA型エポキシ樹脂

水生環境有害性（急性）：区分2 水生環境有害性（慢性）：- オゾン層への有害性：-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 容器、機械装置などを洗浄した排液は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- ・ 廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または、焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有毒ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。
- ・ 特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。

汚染容器及び包装

- ・ 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・ 空容器は残さ（液体、蒸気）を含んでおり危険である。圧力をかけたり、切断、溶接、ハンダ付け、穴をあけたり、熱、炎、スパーク、静電気、又は他の点火源にさらしてはならない。
- ・ 許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理をすること。

14. 輸送情報

共通 取り扱い及び保管上の注意の項に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、店頭、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規制

国連番号	1263	指針番号	128
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従う。		
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。		
航空輸送	航空法の定めるところに従う。		

国際規制

国連番号	1263
国連輸送名	塗料
国連分類	クラス3（引火性液体）
容器等級	容器等級III

15. 適用法令

労働安全衛生法	特定化学物質障害予防規則・第2類物質（別表第1第3号の3） 危険物・引火性の物 有機溶剤中毒予防規則・第2種有機溶剤等 表示対象物質、通知対象物質
消防法	危険物第四類第二石油類 非水溶性
化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）	第1種指定化学物質
化学物質審査規制法（化審法）	優先評価化学物質
船舶安全法	引火性液体類
航空法	引火性液体
通達	労働基準局長通達 基発第477号の2

16. その他情報

主な引用文献

SDS用化学物質データベース	一般社団法人 日本塗料工業会
SDS／ラベル作成ガイドブック（混合物用（塗料用））	一般社団法人 日本塗料工業会
GHS危険有害性分類結果（N I T E）公表データ	独立行政法人 製品評価技術基盤機構（N I T E）

本データシートは、作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱情報など）を集めて作成しておりますが、すべての情報を網羅したものでなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、安全性及び品質を保証するものではありません。

本製品のご使用に当たりましては、関係法規に従うと共に使用者において安全性の確認を十分に行ってください。